

## 技巧の詰まったヴァイオリンの名曲

### ツイゴイネルワイゼン/サラサーテ作



第86回ふれあいコンサート(2021.11.28)

ほとんどクラシックに関心を持つことなく過ごしてきました。ヴァイオリンの音を聴くことがあっても、特に興味をもつこともありませんでした。そんなあるとき、知人の家でレコードを聴くことになり、流れ出るヴァイオリンの美しい音色が胸の奥まで響きました。

曲目はサラサーテ作曲のツイゴイネルワイゼン、演奏者はハイフェッツです。早速ハイフェッツのCDを購入して聴きました。ハンガリー風の哀愁にみちた旋律は何度聴いても、心が洗われ、糸を引くような美しい音色が響き癒されました。「ツイゴイネルワイゼン」とは「ジプシーの歌」の意味であり、ジプシー音楽や民謡を基にして書かれたそうです。哀愁にみちた第1部、甘美な第2部、そして情熱的でアップテンポの第3部からなり、華麗で多彩なヴァイオリンの技巧が魅了します。

2021年11月28日、日本を代表するヴァイオリニスト徳永二男さんによる教育会館ふれあいコンサートを開催しました。その時の演奏が思い出されます。以下は、開催後に書いた雑感の一部です。

徳永二男さん愛用の楽器は名器ストラディバリウスです。1696年に作られたものだそうです。演奏に入ると圧倒的なオーラが感じられ、美しい音色が響いてきます。最後の演奏曲は、世界中の人から親しまれている「ツイゴイネルワイゼン」です。ヴァイオリンの超絶技巧がちりばめており、徳永二男さんの名演奏により聴く者を魅了しました。「すごい!すばらしい!今まで聴いたヴァイオリンで最高でした」という声が寄せられました。

12月1日、第98回教育会館ふれあいコンサート「徳永二男ヴァイオリンリサイタル」を開催いたします。演奏曲の最後は「ツイゴイネルワイゼン」です。この機会に、名器ストラディバリウスによる徳永二男さんの名演奏をまじかで聴ける幸せを堪能したいと思います。